

社会貢献活動

コミュニケーション活動

高校生への教育支援(千葉県立柏高等学校)

カシオ計算機は2006年8月、千葉県立柏高等学校の羽村技術センターへの企業訪問を受け入れました。これは、同校からの「電卓の論理回路について学ぶと共に、研究開発の現場を見学したい」との依頼を受けて実現したものです。同校は、理数系科目に重点を置いたカリキュラムの設置や、大学・研究機関等との連携により、科学技術系の人材育成を目指す「スーパー・サイエンス・ハイスクール」の指定校で、生徒は興味のあるテーマを自ら選定し、能動的に学ぶよう求められています。当日は同校の電卓の機能を研究している生徒5名・先生1名のグループが、これまでの研究内容の論理的な裏づけを得たいとして、カシオ計算機を訪問されました。

まず、開発本部コンシューマ統轄部のメンバーにより、企業活動紹介、加減乗除の論理回路の説明、電卓関連の基礎技術についての講義を行った他、新製品開発の様子や設備等の見学も行いました。生徒の皆さんは非常に熱心で、高度な質問が次々と出されました。

後日、引率の先生より「生徒の学習態度がさらに意欲的になった」とのご連絡を頂きました。カシオでは、今後も子供たちの学習意欲の向上や、社会のために役立つこと、働くことの重要性を伝える良い機会として、こうした活動に積極的に取り組んでいきます。



講義風景

教員の民間企業派遣研修

すっかり夏期の恒例となった「教員の民間企業派遣研修」(主催:財団法人経済広報センター)を7月24~26日の3日間の日程で開催しました。4回目となる本年は、大田区の先生をお迎えして実施しました。

この研修は、「教育の再生」が重点政策とされる中、教育界と経済界との連携により、小・中・高等学校の先生方に企業活動を体験して頂き、その体験を授業を通じて次代を担う子供たちに伝えてもらうことを目的としています。カシオ計算機もこの機会を通じて、様々なメッセージを子供たちに送り続けています。

研修に参加された先生方には、開発～販売の第一線の社内講師の多様なプログラムの中から、特に経営理念「創造 貢献」

の事業活動への浸透、環境活動や社会貢献への取り組みに深い関心を持って頂き、今後の教育現場への積極的な活用案をご提案頂くなど活況の内に修了しました。

先生方から寄せられた感想では、このような形での社会・教育界との関わりの一層の充実をご希望頂いており、カシオにおいても今後のプログラムの拡充などを図りたいと考えています。



研修風景

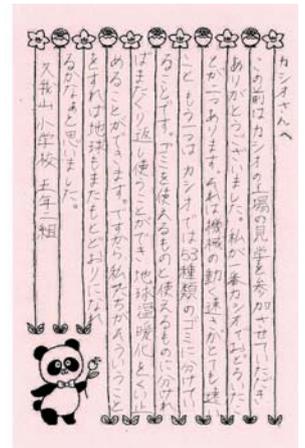
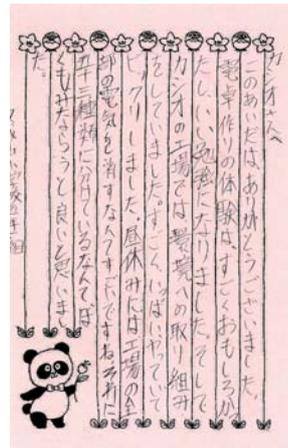
「一万人の工場見学」

～子供たちに生きる力を提供したい～

2004年から甲府カシオを中心としてスタートした「一万人の工場見学」は、子供たちに『家族の絆』『科学の力』『夢の実現』の3つを【生きる力】に結びつけるための気づきを持って頂くことを目的としています。

生徒たちはお父さん、お母さんが働く姿を目にすることで、家族の絆に気づき、また、社会全体が繋がりをもち、支えあっていることを学びます。そして普段見ることのない最先端の製品作りに触れ、実際に製品の組み立て体験をすることで製品の構造と機能を理解し、科学の素晴らしさに目覚めると共に、諦めないで一生懸命努力することにより、必ず夢が実現できることに気づきます。カシオはこうした気づきの機会を提供することで、将来の社会を担う人材の育成に寄与したいと考えています。

2006年度は、5校を受け入れ教職員を含めて262名の見学者をお迎えしました。また、東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2006」においても小学生を対象とした「電卓の組み立て体験」を実施し、3日間で約130名の子供たちが参加し、好評を博しました。



東京都杉並区久我山小学校の生徒さんからのお礼文